

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 2月22日更新

事務事業名	臨時福祉給付金支給事業(簡素な給付措置)					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤 圭子
	施策	18	社会福祉の推進			所属課	福祉課	担当者名	松永 博貴
	施策の柱	55	生活、就労の支援			所属班	社会福祉班	(内線)	2126
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 15	事業連番 11628	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	消費税の引き上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行なうため、暫定的、臨時的な措置としての給付措置を行なう。 給付の対象者は、市民税均等割りが課税されていない者で、かつ市民税が課税されている者の扶養親族でない者とし、これに一人につき6千円を給付する。
【業務の流れ】	給付事業実施の広報→給付申請書の発送→申請書受付→受給資格の審査→支給・不支給の決定→決定通知書の発送→給付金の振込み(または現金支給)
【主な予算費目】	給付費、事務費 職員手当等、共済費、賃金、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	申請に基づき審査の上、給付金を支給した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件	予算の主な増減の理由
→ア:申請書発送件数	件	国策として平成28年度「臨時福祉給付金(簡素な給付措置)」を予定されているが、詳細は未定である。※別途事業「年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事務」を平成28年度に実施する予定である。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民税非課税世帯で、他の課税親族の扶養になっていない市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ア:申請書発送件数	件	(単位)人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	消費税増の影響を軽減する	→ア:平成26年度非課税市民の数
		→イ:平成26年度加算対象市民の数
		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位)件
		→ア:基本分支給決定件数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	見込	見込
①活動指標	ア	件	0	10,443	11,000	10,480	0	0		
②対象指標	ア	人	0	10,443	11,000	10,480	0	0		
	イ	人	0	4,942	0	0	0	0		
③成果指標	ア	件	0	9,288	9,500	9,331	0	0		
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		127,049		79,005			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円				7,915			
		(A)事業費計	千円	0	127,049	0	86,920	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	0	7	0	2	0	0	
延べ業務時間	時間	0	1,600	0	200	0	0			
(B)人件費計	千円	0	6,374	0	742	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	133,423	0	87,662	0	0			

事務事業名	臨時福祉給付金支給事業（簡素な給付措置）	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 勸奨を行なったが、目標値には至らなかった。
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 勸奨を行なうことで申請率の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <small>（具体的な手段、事務事業）</small> ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国からの受託事業であり類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国からの受託事業であり削減余地なし。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 既に事務全般を委託しており、削減の余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国の施策事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

事務全般に関して、苦情やトラブルも無く予定どおり完了した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						